

業 務 等 質 問 書

提出日：令和 7 年 5 月 23 日

発 注 機 関 名	県民文化部こども若者局次世代サ ポート課	公 告 日	令和 7 年 5 月 9 日
業 務 名 業 務 箇 所 名	令和 7 年度長野県ヤングケアラー実態調査業務		
質問書提出者	所 在 地		
	商 号 又 は 名 称		
	電 話		
	担当者 所属・氏名		
質 問 内 容	別紙のとおり		

回答日：令和 7 年 6 月 5 日

(回 答)
別紙のとおり

NO	該当箇所	質問内容	回答
1	仕様書 P 1 第 6 委託業務の詳細 1	貴県が想定している調査票案について、事前にお見せいただくことは可能でしょうか。もしくはそれぞれの調査票において、回答方式毎の設問数（SA・MA：●問、自由記入：●問、マトリクス：●問）をご教示ください。	調査票案については現在、検討中であり具体的な回答ができませんが、前回の調査では、大学・短期大学及び大学生・短期大学生の例では、次のとおりでした。 ①大学・短期大学 全10問(SA・MA:9問、自由記入:1問、マトリクス:なし) ②大学生・短期大学生全31問(SA・MA:29問、自由記入:1問、マトリクス:1問)
2	仕様書 P 1 第 6 委託業務の詳細 1	受託者から相談・支援機関に調査協力を働きかける必要はないという理解で良いでしょうか。	調査協力依頼については、委託者で行うことを想定してはいますが、必要に応じて受託者側で相談、支援機関に調査協力を働きかけていただく場合もございます。
3	仕様書 P 1 第 6 委託業務の詳細 1	対象者①～⑦の各調査で共通する設問は想定されているでしょうか。各調査共通の設問をお考えの場合、おおよその数をご教示ください。	①～④(生徒、学生)及び⑤～⑦(学校)で、それぞれ共通項目の設問を想定しています。設問数については、現在、検討中であり、具体的な数をお示しできませんが、前回の調査では①～④については31問程度、⑤～⑦については10問程度でした。
4	仕様書 P 1 第 6 委託業務の詳細 1 調査の概要 回答方法①	端末は受託者側で準備する必要はないという理解でよろしいでしょうか。	端末は学校等で使用しているタブレット端末等を想定しており、受託者側で準備するものではありません。
5	仕様書 P 1 第 6 委託業務の詳細 1 調査の概要 事前準備	現状は受託者側で発送物の送付業務はないという認識でよろしいでしょうか。	現状では、受託者側での発送物の送付業務は想定していませんが、契約後の調査状況によっては発送物の送付業務が発生する場合もございます。費用が生じる場合は別途協議いたします。
6	仕様書 P 2 委託業務の内容 学校向け調査手引き等の作成 ※2つ目	「相談・支援機関には必要に応じて紙媒体を作成する。」とありますが、この紙媒体の作成、送付は発注者、受託者どちらの業務でしょうか。	紙媒体の作成は受託者、送付は委託者を想定しています。
7	仕様書 P 2 委託業務の内容 W e b サイトの構築 ○2つ目	回答フォームについて、ユニバーサルデザインに配慮したものとありますが、具体的な仕様はありますか。	具体的な仕様はありません。
8	仕様書 P 2 委託業務の内容 W e b サイトの構築	「回答者ごとの I D等を付与しない」かつ「複数回の回答を防ぐ」ために前回調査時に行った手法を教えていただけますでしょうか。	前回調査の手法については回答できません。
9	仕様書 P 2 委託業務の内容 W e b サイトの構築	上記手法について回答いただけない場合、回答者が誰かを特定できない形で、回答の再開や重複回答を防ぐためのID等をランダムで付与することは問題ないでしょうか？	個人一人一人にIDを付与することはできませんが、システム上個人が特定されない方法によりランダムにIDを付与することについては問題ないと考えます。
10	仕様書 P 2 委託業務の内容 W e b サイトの構築	「回答者ごとの I D付与しない」は必須でしょうか。 I Dを付与しないと「一時保存機能の付与」が技術的に困難である可能性が高いです。	回答者ごとのIDは個人情報とみなされることから、IDの付与は現状では不可と考えております。
11	仕様書 P 2 第 6 3 集計・分析	・クロス集計の項目は現時点で何問程度を想定されていますか。 ・自由記述の回答の分類分けはどのようなものを想定されていますか。	・調査票案が調査票案については現在、検討中であり具体的な回答ができませんが、前回の調査では、大学生・短期大学生調査結果のクロス集計は113問でした。 ・自由記述の分類方法については、現段階ではまだ具体的な方針が定まっておりません。今後、実際の回答内容や分析目的に応じて、適切なカテゴリ分けを検討していく予定です。
12	仕様書 P 2 第 6 3 集計・分析	「全体編（単純集計）」、「分析編」はいずれも調査結果報告書への掲載でお間違いないでしょうか。集計速報の作成で掲載するクロス集計結果（概要掲載項目）とはどのようなものを想定しておりますか。	調査結果報告書は、「全体編（単純集計）」「分析編」の2種類を作成していただくという意味です。集計速報でのクロス集計結果は、県下全体数での各集計結果を想定しています。

13	仕様書 P 2 第 6 3 集計・分析	国の全国調査結果の集計表やグラフデータは貸与いただけますでしょうか。その場合はExcelやWORDなどの編集可能な形式でいただけますか。	全国調査結果の集計表、グラフデータは県では保持していませんが、県から国にデータの提供を依頼したいと考えております。
14	仕様書 P 2 第 6 5 調査結果報告書	・報告書のページ数について、前回報告書は331ページですが、今回50ページと大幅減少した背景、意図をお伺いできますか。・ヤングケアラー支援に向けた具体的な提言とは、前回報告書でいえばP331「4. 各学校における今後の課題」にあたりますか。	報告書のページ数が減っているのは予算を減額したためです。分析結果をどこまで報告書に掲載するかは今後検討します。委託料の範囲内でページを増やす工夫ができればご提案いただきたいと思います。またヤングケアラー支援に向けた具体的な提言についてですが、(前回報告書の325ページのこととして回答します)同ページに記載のある「各学校における今後の課題」の提言など、具体的提言をお願いします。
15	仕様書 P 2 第 6 5 調査結果報告書	図表やグラフは受託者が有する集計ソフトの仕様でよろしいですか。それとも貴県との打ち合わせで色合いやレイアウトを協議する必要がありますでしょうか。	図表、グラフの仕様に決まりはありません。
16	仕様書 P 3 第 6 6 独自提案	参考までに前回行った回答率向上に向けた工夫などの取り組みを教えてくださいませんか。	前回が一度目の調査であり、回答率向上の工夫などの取り組みはありません。委託者側から学校等の教育機関に(アンケート協力依頼の働きかけを行っています。
17	仕様書 P 4 第 8 成果品	前回の調査結果、報告書のデータは貸与いただけますか。その場合はExcelやWORDなどの編集可能な形式でいただけますか。	前回の調査結果、報告書のデータ貸与はできません。
18	仕様書 P 4 第 8 成果品	中間報告、報告書概要版のページ数はどの程度を想定されていますか。	中間報告書は、20ページ、概要版は10ページ程度を想定しています。
19	仕様書 P 4 第 8 成果品	報告書の製本にあたって仕様を教えてくださいませんか。	製本にあたっては、A4版両面印刷であること以外に特別な仕様はありません。
20	仕様書 P 4 第 8 成果品	「その他本県が必要とする報告資料、関係データ一式」とはどのようなものを想定されていますか。	現在のところ、特に想定しているものはありません。
21	仕様書 P 5 第 1 0 打合せ協議等	お打合せは、オンラインでの実施でもよろしいでしょうか。	オンラインでの実施も可としますが、場合によっては対面での打ち合わせをお願いする場合があります。
22	仕様書 P 2 委託業務の内容 ヘルプデスクの設置	問い合わせ対応する対象を教えてください。学生、生徒約8万人について、個人からの問い合わせも対象でしょうか	個人からの問い合わせを含め、アンケート対象のすべてが対象となります。